

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	3	・活動グループ毎に部屋割りをして、スペースを確保している ・狭かったりするが、1階と2階に分けて、子ども達を分ける事ができている
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	1	・毎日、子ども達に合わせて配置を工夫 ・1対1でつかなければならない子が数名いるため、活動より、保育優先になっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	0	7	・ブレイルームが2階にあるので、1階にできたらよい ・階段が急である ・階段など、狭くて危険 ・天井が低く、経年劣化が目立つ ・玄関の段差が高く、階段も急で、とても危険である
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	1	・定例会等で、参画している。 ・業務改善はするが、継続が難しく、なあなあになってしまうことがある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	3	・業務改善は、今後、実施して行く予定である
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	5	・今後、掲載予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	・今年度は未実施なので、実施し、具体化することが必要だと思う
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	・定期的に職員研修等がある。 ・広く門戸を開放して情報提供している ・研修参加はしているが、もっと実践に繋がる研修へ参加をしたい	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	1	・個人によってばらつきがあり、事業所として統一できればと思う
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	3	・ばらつきがある
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	2	・その日の担当者が、事前にメールや事前提出をしている ・話し合いの時間が短く、深く話せていない
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	1	・月の活動予定表がある ・スタッフ不足で、保育メインのため難しい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	3	・安心、安全をベースに、活動を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	1	・個人により、ばらつきがある
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・支援前に、必ず打合せをしている。 ・毎日の会議で確認をしている ・もっと細かく、役割分担ができればよい
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	4	・日案に本日の振り返りが書かれており、目を通してはいる。 ・翌日に振り返り実施	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	・記録は書いているだけで、その後の改善には繋がっていない	

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	1	・個人によってばらつきがある
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	0	3	・共有できていない

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	・三役(所長、児童発達管理責任者、主任)が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	2	・定期的には、実施できていない ・問題があったら、その都度実施している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	4	・受け入れなし(回答なし→2名) ・保護者を通してしている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	3	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	3	・サービス事業からの問い合わせに対応している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	2	・子ども部会を通して行なっているが、より密な連携が必要である
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	6	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	0	・代表が、(自立支援協議会)子ども部会の運営会に参加している ・職員も、年4回、障害児等支援施設グループ会議へ参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	1	・個人によって、ばらつきがある
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	3	・必要なことなので、今後取り組む ・支援が必要な保護者ほど、難しい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	・面談の時にしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	1	・モニタリング面談を、半年に1回行なっている ・個人によって、ばらつきがある
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	・各学期毎に行なっており、できるだけオープンにして、参加を呼びかけている ・毎回、事前に世話人会を開催している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	1	・知らないことも、時々ある
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	・通信を発行している ・毎月通信を発行しているが、もっと保護者が知りたい情報を入れてもいい
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	1	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	・気持ちが落ち着かないときは、話を聞いている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	5	・地域本部の秋祭りは、地域へ呼びかけをしている ・全体としてしている ・今後、行なっていく必要がある

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一応あるが、整備する必要がある ・周知なし。特に、原発事故の際の防災マニュアルが必要かと思う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練をした方がよい ・周知の届かない保護者もいるかもしれない ・実施するが、振り返りがない
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を前提とする利用児なし ・今後、整備していく必要がある。現在は、その必要がある事態は発生していない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある児童なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・事例が発生したら、その日のうちに対策を話し合っている ・共有までは、至っていない ・共有していないため、同様の事例が起こることもある